

# 福岡県の河川行政について

本庁支部 奥 達二郎\*

本庁河川課では、福岡県内の一級河川4水系・二級河川52水系の合計334河川を管理しています。業務内容は、河川計画・河川改修工事・河川施設の災害復旧工事・水防・ダムの維持管理・河川法の許可・河川愛護活動などに関することとなっており、円滑な業務の遂行に努めています。

私が所属する企画調査係では、河川整備基本方針などの河川計画の策定・ダムの維持管理・浸水想定区域図や情報基盤整備などの水防に関するソフト対策の推進・多自然川づくりの推進・大規模開発に伴う開発協議・NPOとの協働や連携活動・各種調査物など、多種多様な業務を行っています。

このうち、今回は、NPOとの協働・連携活動として行っている「NPO提案活用事業」についてご紹介します。

福岡県では、NPOやボランティア団体との協働の推進を県政の大きな柱の一つとして位置付けています。このための取り組みの一つとしてNPO提案活用事業があります。この事業は、NPOの自由な発想をより一層活用できるように、事業テーマの企画段階からNPOに参加してもらうものです。今年度の4テーマのうちの一つが「みんなでまちを水害から守る仕組みづくりプロジェクト」であり、現在、河川課とNPOとが協働して仕組みづくりを推進しています。

「みんなでまちを水害から守る仕組みづくりプロジェクト」とは、福岡県内における総合治水（流域全体で行う治水対策）について、モデルとなる流域での総合治水を推進するための仕組みづくり（場とネットワークの構築）を行い、その有効性・必要性を多くの人々に広く認識してもらえるように、この成果について周知・広報活動を行い、それぞれの河川で「仕組みづくり」が行われていくことを目標としています。

今後、この事業で作成した成果（流域図・模型・流域史・討議内容・シンポジウムなど）を有効に活用していくかが課題ではありますが、この種の取り組みは普及に時間が掛かるため、じっくりと長期的な取り組みを持続していきたいと考えています。

\* 土木部河川課企画調査係